

Takara standard

**「EXPO 2025 大阪・関西万博」開幕
ポップアップステージ（西）・トイレ2・トイレ8に
ホーロー壁装材「エマウォール」を提供**

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：小森大）は、「2025年日本国際博覧会（以下大阪・関西万博）」の「ポップアップステージ（西）」、「トイレ2」、「トイレ8」にホーロー壁装材「エマウォール」を提供し、サプライヤーとして協賛しています。4月13日（日）に開幕を迎え、各施設の利用が開始しておりますのでお知らせします。

「大阪・関西万博」では、若い世代の活躍・飛躍のきっかけとするため、会場内の「休憩所」「ギャラリー」「展示施設」「ポップアップステージ」「サテライトスタジオ」「トイレ」の計20施設の設計業務を、審査を経て選ばれた、今後の活躍が期待される若手建築家が担います。「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインコンセプトの下、SDGs（持続可能な開発目標）達成につながる、意欲的かつ大胆な提案をしてもらうことで、個性豊かで魅力的なさまざまな施設の創出が予定されています。タカラスタンダードは、本事業の理念に賛同し、3施設にホーロー壁装材「エマウォール」を提供しました。

■ポップアップステージ（西）

「ポップアップステージ」は小規模ステージで、一般申し込みによるイベントなど、さまざまな催しに使用される施設です。「ポップアップステージ（西）」では、インクジェット印刷による高精細なデザイン表現が可能であること、外装材としての耐久性にも優れている点をご評価いただき、ステージ横に設置される楽屋棟と倉庫棟の壁と屋根に「エマウォール」をご採用いただきました。「エマウォール」は通常、壁装材として使用する建材ですが、今回は屋根部分にも使用し、「大阪・関西万博」の“未来社会の実験場”というコンセプトを受け、設計者の意向により雨樋を壁・屋根に組み込んだ構造を採用しました。

新たな止水方法にもチャレンジしています。従来、パネルの継ぎ目部分は、シーリング材と呼ばれる建築材料を用いて止水しますが、その継ぎ目部分を細くして、パネル同士の継ぎ目を目立たなくすることで柄の一体感をもたせ意匠性が高くしています。この止水方法やパネル形状については、今回の取組が製品化できる可能性があるかを検証し、その結果を今後の研究や製品開発の材料として生かしていくことを想定しています。



概要	設計者	…	三井嶺（株式会社三井嶺建築設計事務所）
	敷地面積	…	399 m ²
	延床面積	…	87.84 m ²
	ホールー使用面積	…	132 m ²

■トイレ2



「トイレ2」の設計コンセプトは、-いのちを持つ庭-。400年程前の人々が大坂城再建のために切り出し、その幾つかが利用されずに、切り出した地に残されました。これらの石は大坂城に運ばれなかったことで残念石と呼ばれています。長い時を経て自然の力・人の手によってつくられた石を人間と同じように「いのちある存在」として建築に取り込み、いのちをもつ建築・庭を制作。外装材として採用された「エマウォール」は、残念石を傷つけないように3Dスキャンデータをもとに石の外周形状に合わせてレーザーカットしています。

自由形状にカットが可能な「エマウォール・レーザーカットタイプ」内装材としては2025年1月に実用化していますが、今回は試験的に外装材にその技術を応用。「高品位ホールー」は、耐久性や清掃性に加えて耐候性に優れており、太陽光線や風雨などに晒されても変色、腐蝕や光沢が落ちる心配がほとんどありません。ただホールーのカット端面は錆びやすいという懸念もあり、今回は外部での設置にも耐えうる処理を検討して実施しています。今回の取り組みをもとに、外装材として設計対応力やデザイン性に優れたパネルの実用化を検討していきます。



概要	設計者	…	小林 広美 (studio m!kke 一級建築士事務所) 大野 宏(Studio on_site) 竹村 優里佳 (Yurica Design and Architecture)
	延床面積	…	60.54 m ²
	ホーロー使用面積	…	79.5 m ²

■トイレ 8



※撮影用に扉はすべて開放し、植栽をずらして撮影しています

従来のトイレを“多様性”という視点から捉え直したのが、14 個の分棟からなる「トイレ 8」です。各棟には 1～数個という少数の便房が設置されており、一般的な男性用、女性用、多目的用という区分に縛られず、ジェンダーや宗教、国籍、身体能力など、個々の心や体に合わせてさまざまなタイプのトイレを使用できるようになっています。

今回、各棟に便房が 1～数個と、広さがそこまで確保できない設計のため、採用されたのが独自のホーローインクジェット印刷で色調の変化を丁寧に表現したグレーグラデーションのデザインです。足元の濃いグレーが上に行くにつれて薄くなっていくことで、開放的に見える内装となっています。また、清掃性が高く、においも付きにくいホーローの特性は不特定多数の人が利用する公衆トイレの内装材には最適。使用者の使い勝手に配慮しながら、新しいトイレの形を表現できる、という理由でホーロー内装材を採用いただく運びとなりました。

概要	設計者	…	齋藤 信吾+根本友樹+田代夢々 (齋藤信吾建築設計事務所+Ateliers Mumu Tashiro)
	延床面積	…	56.19 m ²
	ホーロー使用面積	…	122 m ²

タカラスタダードは、地元大阪で開催される「大阪・関西万博」を応援すると共に、未来を担う若手建築家やこれからの建設業界に貢献してまいります。

<タカラスタダードとは>

1912 年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912 年 5 月 30 日 (創業 112 年) / 売上高<連結>：2,347 億円 (2023 年度) / 従業員数<連結>：6,616 名 (2024 年 3 月末時点)]